

# 平成17年度文化功労者

津山市の文化功労者に押阪忍さんが選ばれました。



押阪さんは、津山高校卒業後、進学のため上京。昭和33年、株式会社日本教育テレビ（現・株式会社テレビ朝日）にアナウンサー1期生として入社した後、昭和40年には民放テレビ初のフリーアナウン

サーに転身し、話題となりました。その後、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への寄稿、講演会活動などと幅広く活躍。そうした中で、折に触れ郷土である津山の魅力を全国に発信し、津山の知名度やイメージの向上に寄与してこられました。

さらに平成15年4月からは「津山市観光大使」を務め、平成16年4月1日から今年5月5日までの400日間にあたり開催した「津山城築城400年記念事業」では、夫人の栗原アヤ子さんとともに、事業の成功に大きく貢献されました。

## 晴れの国おかやま国体が終了しました



半世紀に1度の国体地元開催。津山市ではゲートボール、柔道、剣道、軟式野球、ハンドボールと多くの競技が行われました。準備以前の段階から多くのみなさんにご協力いただき、津山市開催競技のすべてを滞りなく実施することができました。ありがとうございました。（本紙12月号で国体の特集をします）



## 人権について考えてみましょう

人権は、人が幸せに生きるために誰もが等しく持っている権利です。「世界人権宣言」が、昭和23年12月10日に国際連合で採択され、この日を記念して、12月10日を「人権デー」と定められました。

日本では、毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定め、広く国民に呼びかけるとともに人権意識の普及と高揚を図っています。

人権を尊重する社会づくりには、一人ひとりの個性の違いを尊重し、様々な立場、思想や信条を認めあうことが大切です。家庭や学校、職場で人権について考えてみましょう。

問い合わせ先 人権啓発課 31・0088

■人権週間/12月4日～10日 ■障害者週間/12月3日～9日

### 平成17年度人権啓発活動重点目標

育てよう 一人一人の 人権意識  
— 思いやりの心・かけがえのない命を大切に —

#### 平成17年度「人権標語」が決定しました！

今年度は、1,712点の応募があり、その中から次のとおり最優秀・優秀作品が決定しました。（敬称略）

- |  |  |
|--|--|
| 【最優秀賞・小学生の部】<br>わかります？いじめにあったその気持ち   | 宇多 美沙(南小4年)  |
| 【最優秀賞・中学生の部】<br>君のこと 見てる人が きっといる   | 杉元 芽(中道中2年)  |
| 【最優秀賞・一般の部】<br>分かるよね！言っていること 悪いこと  | 有本 香苗(油木北)   |
| ◎優秀賞<br>ありがとうげんきをくれてうれしいな<br>だいじょうぶ その一言で 救われる<br>あいさつは心をつなぐあい言葉<br>だいじにしよう 自分の人権みんなの人権<br>見えますか きずつく人の心の中 | 岸本 奨平(高田小2年)<br>朝比奈 慶(院庄小6年)<br>広野 悠里菜(広野小6年)<br>武本 典子(弥生小6年)<br>中村 大介(津山東中3年) |

大型特設法律  
・人権相談所

とき:12月8日(木)午前10時～午後3時 ところ:男女共同参画センター「さん・さん」(アルネ・津山5階) 内容:登記、契約、遺言、家庭内、差別などの問題 料金:無料 ※12月6日(火)までに予約してください 申込・問い合わせ先:津山人権擁護委員協議会事務局 22-9157